

Panasonic®

V2H蓄電システムeneplatを
お使いの場合の専用機能について

補足説明書

● AiSEG2

品番 MKN704・MKN704□□□

● AiSEG2(集合住宅用)

品番 MKN705・MKN705□□□

● AiSEG2(7型モニター機能付)

品番 MKN713・MKN713□□□

- この冊子はV2H蓄電システムeneplatをお使いの場合の専用機能の操作などについて説明しています。ご自宅のシステムについては施工店にお問い合わせください。
- 基本的な操作についてはMKN704/MKN705あるいはMKN713に準じます。それぞれの各説明書を参照してください。

もくじ

ご注意	3
自立運転について	4
蓄電池/V2H運転モードを設定する	10

- 上記もくじ項目以外の操作については、各品番の取扱説明書(詳細版)に準じます。
- 取扱説明書(詳細版)は当社ホームページに記載しています。閲覧用アドレスについては、各品番に同梱している取扱説明書の3ページを参照してください。

ご注意

- V2H蓄電システムeneplatにV2Hスタンドが接続されている場合、AiSEG2にELSEEVを接続することはできません。
- V2H蓄電システムeneplatに蓄電池が接続されている場合は、取扱説明書(詳細版)に記載されている蓄電システムに関する機能(停電動作、気象警報連動、カスタム運転(蓄電池運転モード)、EV充電アシスト、EVの太陽光充電、太陽光活用モード、30分単位の節電設定については、V2H蓄電システムeneplatでも同様に機能します。また、停電動作の機能はV2H蓄電システムeneplatにV2Hスタンドが接続されている場合、およびV2H蓄電システムeneplatに蓄電池とV2Hスタンドが接続されている場合も使用できます。
- 蓄電池とV2Hスタンドを接続したV2H蓄電システムeneplatをお使いの場合、現在の電気画面(詳細)(ペンギン)画面では、蓄電池とV2Hスタンド間で充放電する場合でも、画面上の矢印が家を経由するように表示されます。



- V2H蓄電システムeneplatを使用する場合、AiSEG2では交流の瞬時値、積算値に相当する値を表示しますので、使用電力がV2H蓄電システムeneplatの電力表示と異なる場合があります。
- V2H蓄電システムeneplatでELSEEV充電の停電動作が設定されている場合は、停電発生時にELSEEVへ充電を行った際に蓄電池の定格出力を超えることにより自立運転が停止する場合があります。
- V2H蓄電システムeneplatに蓄電池とV2Hスタンドを後付けする場合は、AiSEG2の太陽光活用モードを「しない」に設定した後([参照](#)取扱説明書(詳細版))、有線/無線LAN機器一覧/削除画面から創蓄連携システムをいったん削除し、[かんたん施工](#)タブから再度登録する必要があります([参照](#)設定マニュアル)。
- 専用アプリ「スマートHEMSサービス」はV2H蓄電システムeneplatには対応していません。

自立運転について

V2H蓄電システムeneplatをお使いの場合は、停電時に自立運転を行うことができ、自立運転時にもAiSEG2で電気の流れの状況を確認することができます。

注 V2H蓄電システムeneplat側で設定が必要です。(参照) [V2H蓄電システムeneplatに付属の説明書](#)

1 自立運転時にAiSEG2の画面を表示させる

- ➡ 停電中画面が表示されます。
(参照) [5～9ページ](#)
- 自立運転が行われると、AiSEG2で停電中画面が表示できるようになります。(参照) [V2H蓄電システムeneplatの説明書](#)
 - 自立運転開始後、安定動作に入るのに10分程度かかります。しばらく待ってから停電中画面を表示してください。



(MKN713で表示させる場合)
(今は開始ボタンを押す)

2 自立運転状況を確認する

- 注**
- 電力は小数点3位以下を四捨五入して表示しています。
 - 自立運転中は電力積算値など記録されないデータがあります。
 - 蓄電システムによって、画面が異なります。お使いの蓄電システム構成については施工店にご確認ください。

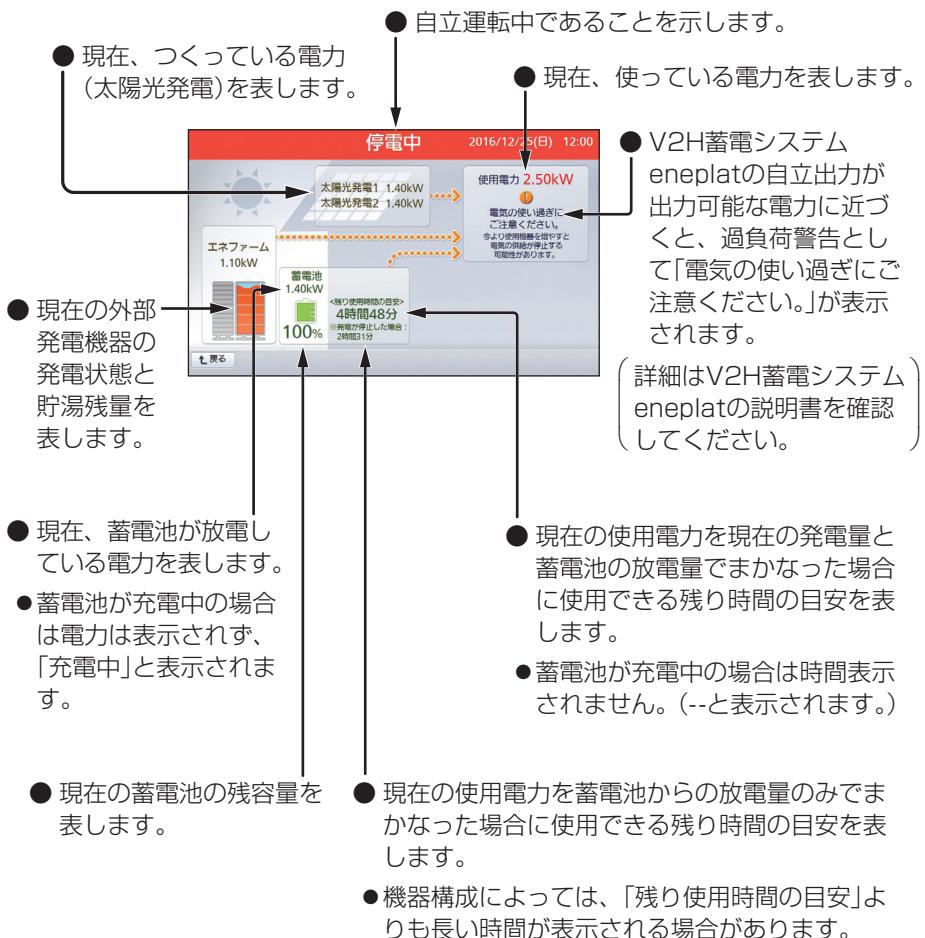


- 自立運転中、発電していれば、発電中ランプがゆっくり橙色点滅します。



(MKN713の場合)

■V2H蓄電システムeneplat(蓄電池あり/V2Hスタンドなし)をお使いの場合



自立運転について

■V2H蓄電システムeneplat(蓄電池あり/V2Hスタンドあり)をお使いの場合

- 自立運転中であることを示します。

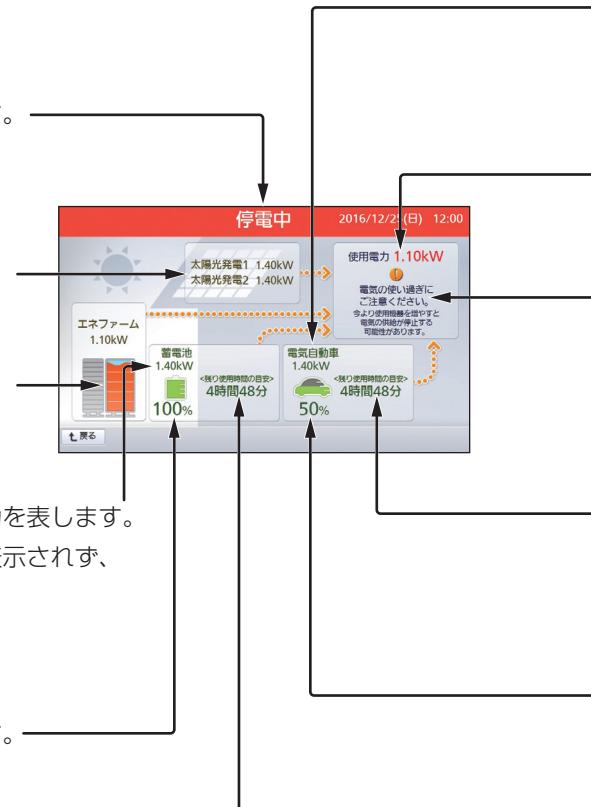
- 現在、つくっている電力(太陽光発電)を表します。

- 現在の外部発電機器の発電状態と貯湯残量を表します。

- 現在、蓄電池が放電している電力を表します。

- 蓄電池が充電中の場合は電力は表示されず、「充電中」と表示されます。

- 現在の蓄電池の残容量を表します。



- 停電状態が復旧すると、AiSEG2で通常画面が表示できるようになります。
(参照) V2H蓄電システムeneplatの説明書)

- 通常運転開始後、安定動作に入るのに10分程度かかります。しばらく待ってから通常画面を表示してください。

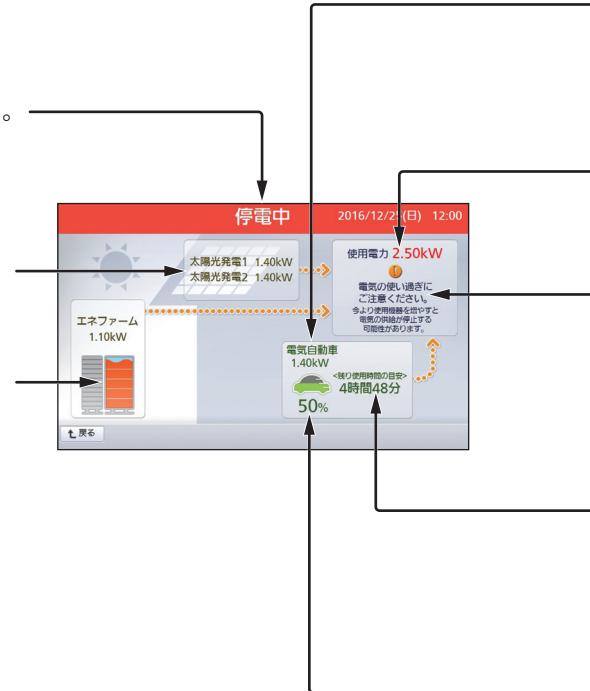
- 現在、電気自動車が放電している電力を表します。
 - 電気自動車が充電中の場合は電力は表示されず、「充電中」と表示されます。
 - 電気自動車が接続されていない場合は「未接続」と表示されます。
-
- 現在、使っている電力を表します。
-
-
- V2H蓄電システムeneplatの自立出力が出力可能な電力に近づくと、過負荷警告として「電気の使い過ぎにご注意ください。」が表示されます。
(詳細はV2H蓄電システムeneplatの説明書を確認してください。)
-
-
- 現在の使用電力を現在の発電量と電気自動車の放電量でまかなかった場合に使用できる残り時間の目安を表示します。
 - 電気自動車が充電中の場合は時間表示されません。(--と表示されます。)
-
-
- 現在の電気自動車の充電残容量を表します。
-
-
- 現在の使用電力を現在の発電量と蓄電池の放電量でまかなかった場合に使用できる残り時間の目安を表します。
 - 蓄電池が充電中の場合は時間表示されません。(--と表示されます。)

自立運転について

■V2H蓄電システムeneplat(蓄電池なし/V2Hスタンドあり)をお使いの場合

- 自立運転中であることを示します。

- 現在、つくっている電力(太陽光発電)を表します。
- 現在の外部発電機器の発電状態と貯湯残量を表します。



- 停電状態が復旧すると、AiSEG2で通常画面が表示できるようになります。
(参照) V2H蓄電システムeneplatの説明書)
- 通常運転開始後、安定動作に入るのに10分程度かかります。しばらく待ってから通常画面を表示してください。

- 現在、電気自動車が放電している電力を表します。
 - 電気自動車が充電中の場合は電力は表示されず、「充電中」と表示されます。
 - 電気自動車が接続されていない場合は「未接続」と表示されます。
-
- 現在、使っている電力を表します。
-
- V2H蓄電システムeneplatの自立出力が出力可能な電力に近づくと、過負荷警告として「電気の使い過ぎにご注意ください。」が表示されます。
(詳細はV2H蓄電システムeneplatの説明書を確認してください。)
-
- 現在の使用電力を現在の発電量と電気自動車の放電量でまかなかった場合に使用できる残り時間の目安を表示します。
 - 電気自動車が充電中の場合は時間表示されません。(--と表示されます。)
-
- 現在の電気自動車の充電残容量を表します。

蓄電池/V2H運転モードを設定する

V2H蓄電システムeneplatの運転モードを設定することができます。

1 AiSEG2の画面を表示させる

→起動画面が表示されます。

2 メニューを選ぶ

→メニューバーが表示されます。



(MKN713の場合)

3 設定を選ぶ

→設定画面(機能設定タブ)が表示されます。



(MKN713の場合)

4 モード・シーン設定を選ぶ

→モード・シーン設定画面が表示されます。



5

蓄電池/V2H運転モードを選ぶ

→蓄電池/V2H運転モード設定画面が表示されます。



6

運転モードを選んで決定を選び

→「登録を受け付けました。設定が反映されるまでに1分程度かかることがあります。」が表示され、設定が始まります。

- 設定が完了すると、設定画面に戻ります。
- 「登録に失敗しました。」と表示された場合は、設定をやり直してください。

■自家消費

V2H蓄電システムeneplatで設定した情報に合わせて発電した電力を充電して、電気使用量が増えるときに放電することで買電力を抑えます。

■タイマー

V2H蓄電システムeneplatで設定した情報に合わせて電気料金の単価が安い時間に充電して、単価が高い時間に放電します。



太陽光活用モードに対応している蓄電システムとエコキュートが登録されていて太陽光活用モードを「する」に設定している場合、「タイマー」を設定することができます。設定しようとすると「登録に失敗しました。」が表示されます。

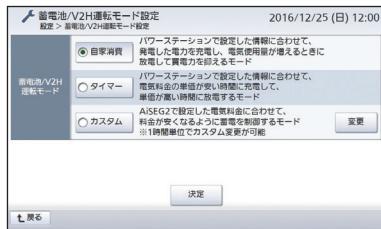
■カスタム

設定した料金プランに合わせて、買電量を抑えるように充放電を自動で切り替えます。

- 1時間単位で充放電をご自分で設定することもできます。（参照▶13ページ）



V2Hスタンドを接続している場合、「カスタム」は表示されません。



(V2Hスタンドを接続していない場合)

次ページへ続く

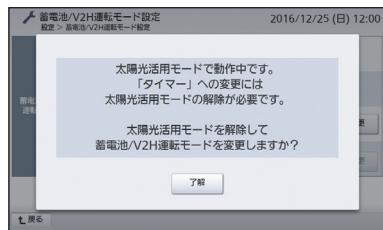
蓄電池/V2H運転モードを設定する



- EVの太陽光充電設定が「する」に設定されている場合は、「カスタム」を設定することができます。設定しようとするとメッセージが表示されますので、内容を確認して **了解** を選んでください。
- 「カスタム」モードで運転中に蓄電池ネットアダプタに接続されたパワーステーションで蓄電池の運転モードを変更すると、最大10分間設定した動作を行わない場合があります。



- 太陽光活用モードに対応している蓄電システムとエコキュートが登録されていて太陽光活用モードを「する」に設定している場合、「自家消費」か「カスタム」以外を設定することはできません。設定しようとすると右画面が表示されます。**はい** を選ぶと太陽光活用モードが「しない」に設定されて蓄電池/V2H運転モード設定が実行されます。**いいえ** を選ぶと設定を中止して元の画面に戻ります。
- 「カスタム」に設定するとEVの太陽光充電設定を効的にできません。モード・シーン設定画面で **EVの太陽光充電** を選ぶとメッセージが表示されますので、確認して **了解** を選んでください。



カスタム運転モード設定

カスタムモードでは設定した料金プランに合わせて自動的に充放電が行われますが、1日の充放電制御スケジュールを自由に設定することもできます。

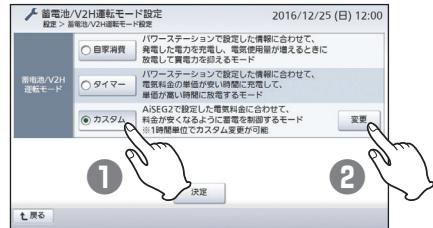


V2Hスタンドを接続している場合、カスタム運転モード設定はできません。

① 蓄電池/V2H運転モード設定画面で カスタム を選ぶ

② カスタムの 変更 を選ぶ

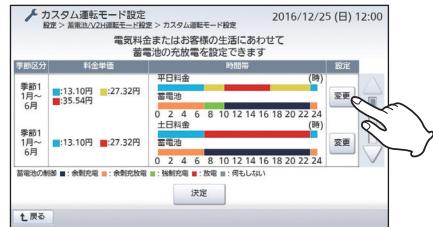
→ カスタム運転モード設定画面が表示されます。



(V2Hスタンドを接続していない場合)

③ 現在の設定を確認し、変更したい季節区分の 変更 を選ぶ

→ 変更画面が表示されます。



④ ◀、▶で「午前」「午後」を選ぶ

⑤ 変更の項目で設定したい時間帯（1時間単位）を選ぶ

⑥ 設定値の項目で 余剰充電 を選ぶ

余剰充電 強制充電 放電

何もしない を選ぶ



次ページへ続く

蓄電池/V2H運転モードを設定する

⑦ 手順④～⑥を繰り返す

⑧ 季節区分の設定が終われば [決定] を選ぶ

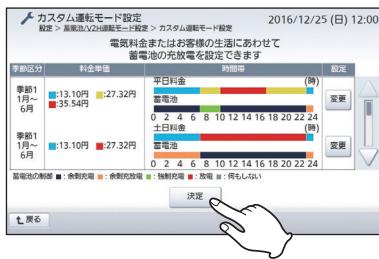
→カスタム運転モード設定画面に戻ります。



⑨ 必要な季節区分について、 手順③～⑧を繰り返す

⑩ 設定が終われば、カスタム 運転モード設定画面で [決定] を 選ぶ

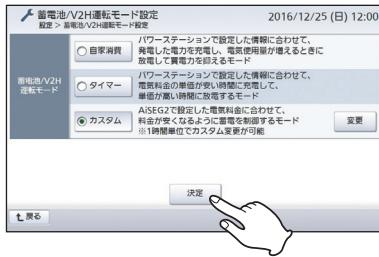
→蓄電池/V2H運転モード設定画面に戻ります。



⑪ [決定] を選ぶ

→「登録を受け付けました。設定が反映されるまでに1分程度かかることがあります。」が表示され、設定が始まります。

●設定が完了すると、設定画面に戻ります。





- 料金プランが変更されると、カスタム運転モード設定画面で設定した内容はプランに応じた設定に自動更新されます。
 - 誤った内容を入力するとエラー画面が表示されます。内容を確認して **了解** を選んでやり直してください。
 - カスタム運転モード設定で、連続しない充電時間帯を2つ以上設定することはできません。設定しようとするとメッセージが表示されますので、内容を確認して **了解** を選んでください。
 - 設定後、**決定** を選ばずに **戻る** を選ぶと確認画面が表示されます。入力中の内容を反映させない場合は **はい** を選んでください。反映させる場合は **いいえ** を選んで **決定** を選んでください。
-

パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

© Panasonic Corporation 2023

8A4 605 00001
M0323-0Mj